

# 特別展

平成24年10月20日(土)～11月25日(日) 午前9時～午後5時(初日は午前10時開館)

三人の天下人に仕え、浜松城に天守を建てた

浜松城主

# 堀尾吉晴



関白草紙(正法寺蔵)(豊川市指定文化財)

入館料 特別展観覧料

大人500円(400円) 高校生200円(160円) 小・中学生 無料  
70歳以上の方・各種障がい者手帳をお持ちの方及び介添えの方1名まで半額  
※( )内は20名以上の団体料金

後援 静岡新聞社・静岡放送 浜松市教育委員会  
静岡県文化財保存協会  
公益財団法人浜松市文化振興財団  
公益財団法人浜松観光コンベンションビューロー

記念講演会

## 【堀尾吉晴の生涯】

日時 10月28日(日)午後2時～4時  
講師 佐々木倫朗(大正大学准教授)  
会場 プレストワー17階静岡新聞ホール(JR浜松駅北口)  
浜松市中区旭町11-1  
入場無料 当日会場へお越しください。

《連携事業》

## 浜松戦国山城まつり

— 二俣城・鳥羽山城を極める! —

11月10日(土)・11日(日)  
会場 10日天竜壬生ホール 11日二俣城ほか  
問い合わせ 文化財課(電話053-457-2466)

浜松市博物館

# 特別展

## 三人の天下人に仕え、浜松城に天守を建てた

# 浜松城主堀尾吉晴

平成24年

10月20日土～11月25日日

午前9時～午後5時

(初日は午前10時開館)



裁断橋擬宝珠  
(名古屋市博物館蔵)  
(名古屋市指定文化財)

堀尾吉晴は、尾張国の出身で、織田信長、豊臣秀吉に仕え、豊臣政権下では、秀吉の重臣となり、秀吉の天下統一を助めました。

吉晴は天正十八年(1590)、小田原の北条攻めのおと、十二万石の知行で浜松城主となりました。続いて関ヶ原の戦いでは、徳川家康の東軍側に付き、息子の忠氏が活躍したこともあり、慶長五年(1600)には二十四万石に加増され出雲・隠岐国の国持大名へ大出世しました。

浜松在城わずか十年でありましたが、吉晴が浜松に残したものは大きなものがありました。私たちが現在見るのできる浜松城の石垣は、吉晴が築き、天守台の上に巨大な天守を建てたと考えられています。

堀尾氏は知行地内の二俣城や鳥羽山城も石垣を持つ城へ改修しました。浜松城や二俣城を家康の築いた戦国の城から近世城郭へ大きく変貌させ、豊臣政権の天下を世に知らしめました。

今回の展示では、吉晴の浜松在城期を中心に、豊臣秀吉の下で頭角を現し、やがて、佐和山城主四万石、浜松城主十二万石と領地加増で、出世を繰り返し、秀吉没後は家康に付き、関ヶ原の合戦後に出雲・隠岐国二十四万石の大大名となる生涯を信長・秀吉・家康との関係を交え、激動の人生を現存する資料を中心に紹介していきます。



堀尾吉晴像(春光院蔵)



堀尾忠氏像(春光院蔵)



出雲大社棟札(出雲大社蔵)  
(重要文化財)



関ヶ原合戦絵巻(大坂城天守閣蔵)



交通案内 博物館への交通機関  
JR浜松駅北口バスターミナル2番ポール  
遠鉄バス「観塚・佐鳴台」行→「博物館」下車

# 浜松市博物館

〒432-8018 静岡県浜松市中区舘塚四丁目22-1  
E-mail hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

TEL.053-456-2208 FAX.053-456-2275  
http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/